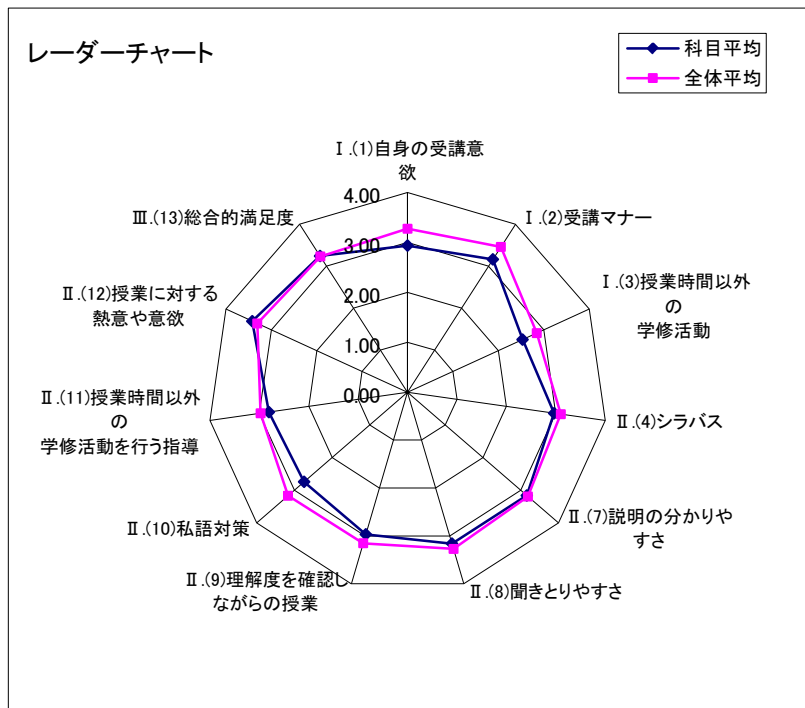
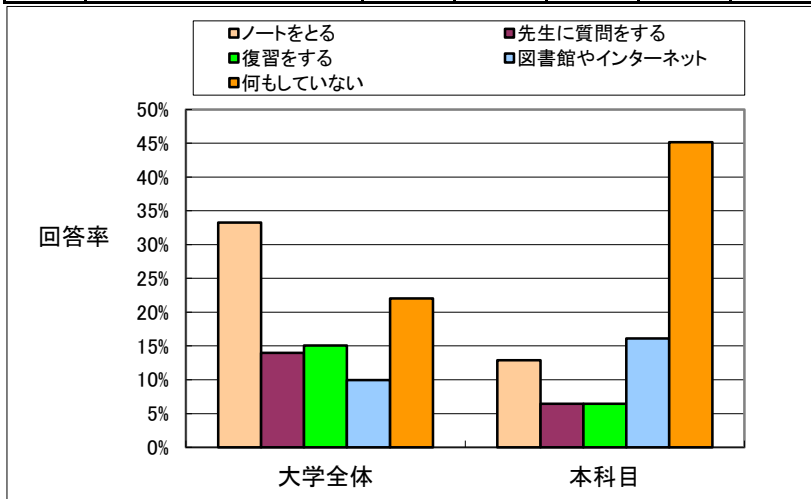


# 講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.13	0.06	0.06	0.16	0.45



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	2.94	3.27
	I.(2)	3.16	3.46
	I.(3)	2.53	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.97	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.16	3.19
	II.(8)	3.16	3.27
	II.(9)	2.97	3.15
	II.(10)	2.74	3.17
	II.(11)	2.81	2.97
	II.(12)	3.42	3.31
	総合評価	III.(13)	3.24

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	2.88	3.19
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.03	3.17
総合評価 III.(13)	3.24	3.23

# アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	3131
科目名	スポーツ経営学
教員名	

## ①授業計画の達成度について

教科書の内容からすると約半分のテーマについて講義が出来た。当初予定した内容量からすると進行が遅く、量的にやや物足りなかったかもしれない。しかし、多くのスポーツ経営学の課題とキーワードの整理・理解は出来たと思っている。ドラッグの経営学理論をスポーツ場面で考えるという手法は、大いに歓迎され、刺激を与え、経営学理論を身近に感じたはずである。学生は関心を深めたと思われる。身近な課題としてとらえ、体験に基づき、優れたレポートが幾つか提出された。講義の前半での自学自習の課題の提示が少なく、自らの学修を促すにはいたらなかった。後半はテーマを見つけ問題意識を持ち自習した学生が多数いたと思います。

## ②授業の進め方について

「もしドラ」のDVDを約30分視聴し、キーワードを記録させ、講義内容で整理してゆく方法は、数年の経験で上手く進むようになってきた。ただし、教科書の内容と課題が前後するので、最初は受講生が途惑うが慣れてくれば十分ついてこれる学生が増えてきたと感じている。教科書のページとドラマの進展の関係が整理されてきたためであろう。授業の開始当初は、遅刻する受講生が多かったが、時間どうり始まるDVDを見ていないと流れが理解されないの、後半遅刻者が減ってきた。また、前回のDVDの要旨を文章化し、確認し、進めるようにしてから理解が深くなったであろう。

## ③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

興味を引き付けるテーマと手法は上手くいって、私語をする受講生、居眠りをする受講生は少ない。しかし、受け身的態度のまま時間を過ごさせたことを残念に思う。毎時シツカリ課題提出カードなどを提出させ、形成的評価の積み上げが必要であると反省している。厳しく指導し、課題提出を毎時間求めると受講生が減る。学生が納得して自ら学習する教材の提示と方法を今後も検討してゆく。教員側のこの講義に対する、教員の意欲と工夫は受け入れられているとアンケートからも受け取れる。本当に大切なのは、学生が自ら学習するようにすることであることなので、受講生が納得し汗をかき努力する講座を目指したい。